

2019年 三溪園展示会報告

横浜市 田邊 孝

令和元年6月10日(月)から16日(日)までの7日間の日程で神奈川県横浜市磯子区にある「三溪園」で開催しました。「三溪園」は横浜市内の観光コースになっており、多くの観光客の来園者などに花菖蒲の魅力を伝えることができたものと思われます。今年は春先の気温上昇は鈍かったのですが、その後は順調に回復したことから、肥後や江戸の中生から晩生品種の展示が多くなるという、例年どおりの出品品種の構成となりました。

展示は4号ポット植えのものを中心に、盆栽、樽植えなどのものを適宜配置して展示をしました(写真1)。



写真1 多数の鉢を並べた展示

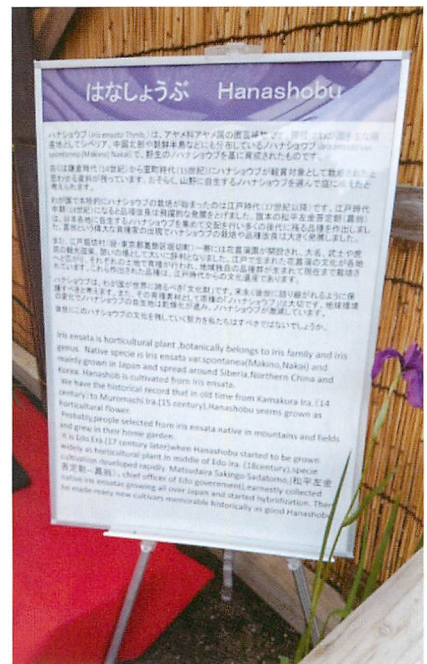


写真2 緋毛氈を敷いた個所の展示

また、昨年度から再開したその日の良い花の展示を昨年同様に行いました(写真2)。

「三溪園」は日本庭園が有名なため、海外からの来園者が多いため、椎野前会長の英訳でパネルを作成し対応を行いました(写真3)。

パネルはその他、「ハナショウブよくある質問」として、ハナショウブ、アヤメとカキツバタの区別、しょうぶ湯について、花のつくりを説明するものを作成しておき、



来園者に展示 写真3 英語表記の花菖蒲紹介会当番がハナショウブについて解説する際に活用しました。

本展示会は協会の存在を示し、花菖蒲の普及へのよい機会となっています。近年、会場近隣に居住している会員が仕事や身体の都合で当番に参加し辛くなってきています。また、花苗の頒布売上が下がってきており運営経費の捻出に苦労するようになってきています。しかし、日本花菖蒲協会の存在意義を示し、私たちと共感できる人たちを集める事を考えると、運営方法や展示方法を見直しながらも展示会開催を継続していくことは大切なことだと考えています。2020年も同様に開催する予定ですので、展示会への出品や当番としての参加について、特に近隣在住の会員の方々にはお願いします。また、遠方の方でも参加の方法は色々と考えられますので、ご連絡を下さい。

《連絡先》

〒241-0011 横浜市旭区川島町2914-5

田邊 孝